

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福岡工業大学 新棟	階数	地上4F
建設地	福岡市東区和白東3丁目94番1外6	構造	S造
用途地域	第1種住居地域及び第一種低層住居	平均居住人員	1,200 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年7月 予定	評価の実施日	2015/10/
敷地面積	87,480 m ²	作成者	塚 秀敏
建築面積	2,896 m ²	確認日	2015年10月15日
延床面積	7,468 m ²	確認者	日本ERI



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み 74% (46 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>③上記+②以外の 67%</p> <p>④上記+ 67%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.6</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.4</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>予算の中で、特に要求される項目や重要な項目に絞り計画を行った</p>	<p>その他</p> <p>特に無し</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>研究室、講義室、会議室等特に静粛性の確保に配慮した、又、喫煙については大学敷地内全面禁煙を実施中</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>特に無し</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>特に無し</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>主な外壁材に断熱性能が高い耐熱断熱パネルの採用や、北側サッシのガラスにペアガラスを採用するなど断熱性能の向上に留意した</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>他の棟の雨水槽の利用や接着剤や塗料を☆☆☆☆化するなど配慮した</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂の排出に配慮した</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される